

News Release

2025 年 6 月 17 日

第 4 回国際バイオアクティブペプチドシンポジウム(ISBP)で

ファーマフーズ研究員 2 名が「Flash Talk Competition Award」を受賞

株式会社ファーマフーズ(本社：京都市西京区、代表取締役：金武祚)は、第4回国際バイオアクティブペプチドシンポジウム「International Symposium on Bioactive Peptides : ISBP2025」(2025年6月10日～6月11日、京都大学国際交流ホール)にて、研究成果を発表いたしました。

ISBPは、世界中のペプチド研究者が集まる国際的な学会です。この度、ファーマフーズは、卵由来ペプチドの応用分野における貢献が評価され、所属する研究員2名が「Flash Talk Competition Award」を受賞しました。

1 位 ボーンペップ®	Characterization and osteogenic evaluation of egg yolk-derived peptide, VNPE. 発表者 Arif Yanuar Ridwan
2 位 ランペップ®	Oral intake of egg white hydrolyzed peptides reduces the subjective feeling of facial swelling. 発表者 田村 葵

ボーンペップ®：骨密度の低下抑制や骨成長の促進等、骨の代謝を改善する卵黄由来のペプチド食品素材

ランペップ®：血流改善作用による冷え性改善や運動パフォーマンス向上効果を持つ卵白由来のペプチド食品

また、発表後に行われたテクニカルツアーでは、世界中から集まった50名以上の研究者がファーマフーズを訪問し、当社ペプチド技術についてディスカッションするとともに、未来のネットワーク構築にも繋がりました。

今後もペプチドをはじめとする機能性素材の開発を進め、ヘルスケアの貢献に向けて尽力してまいります。



Flash Talk Competition Award を受賞したファーマフーズ開発部の Arif (右)、田村 (左)



世界中のペプチド研究者がファーマフーズに来社ペプチド技術について活発にディスカッションを行った